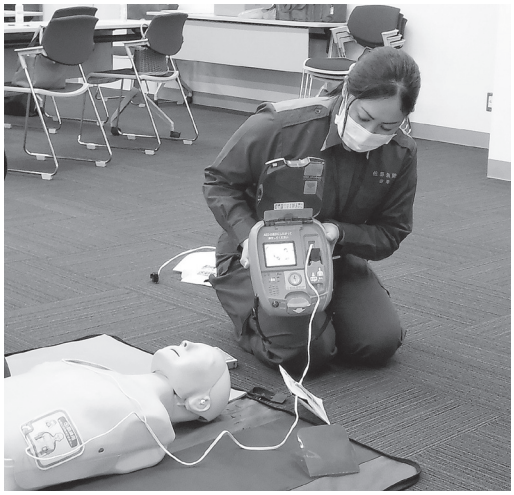
佐野市男女共同参画情報紙

パレット

第２４号
2022 年 3 月発行

佐野市男女共同参画都市宣言キャッチフレーズ

～認める　支える　分かち合う　個性かがやく参画社会～



目　次

２ｐ…「輝く人たち」インタビュー
一般事業主行動計画について知っていますか？
～くるみん認定企業を取材しました～
３ｐ…「パレット賞」を受賞して
～令和３年度男女共同参画推進事業者表彰
「パレット賞」受賞事業者に聞く！～
４ｐ… 男女共同参画講演会、パレットプラザさの講座

コロナ禍、市民の命を守るため訓練を行いながら勤務する消防士の皆さん。男性が多い職場ですが、佐野市では4名の女性消防士が勤務しています。今回は、2名の女性消防士にお話を伺いました。（インタビュー内容は次頁をご覧ください）

シリーズ 輝く人たち

（左）警防課　谷津　美希　さん
（右）東消防署　永瀬　里紗　さん

○消防士を目指した理由は？

谷津（以下㊤）大学では体育学部でした。救命救急を学ぶ中で、現場にも女性がいた方がよいと感じました。教員と迷いましたが消防士を目指し、佐野市では初の女性消防士となりました。

永瀬（以下㊫）中学生時代に見た消防士のドラマに影響を受けて目指しました。

○業務内容／仕事と家庭の両立について

㊤現在は救急に関する管理業務など日勤業務をしています。以前は現場に出ていましたが、妊娠を機に身体への負担を配慮してもらいました。

㊫救急搬送業務で24時間勤務のため、家事が大変なときはありますが、家族と協力しています。

○業務においてコロナ禍で苦労していることは？

㊤㊫感染対策のため、防護服を着用し現場に向かいますが、夏は大変でした。また、発熱患者の病院がなかなか決まらず苦労したこともありました。

○男性が多い職場で働いていてどのように感じますか？

㊤㊫力の差を感じることはありますが、仕事上での支障はありません。現在の職場では女性用の環境設備も整っていますし、むしろ男性の方が気を使ってくれていると感じます。現場の傷病者の方から「女性がいて安心した」との声をいただくこともあり、改めて女性の必要性を感じています。

○一言メッセージ

㊤㊫現在、県内全ての消防本部（局）で女性消防士が活躍しています。今後も一緒に働く女性の方が増えたら嬉しいです。

〈インタビューを終えて〉

お二人に接し、女性消防士がお年寄りや小さなお子さんに安心感を与えていると感じました。お二人のような消防士を目指す子どもたちが多くなることを期待したいです。（取材日：12月17日）

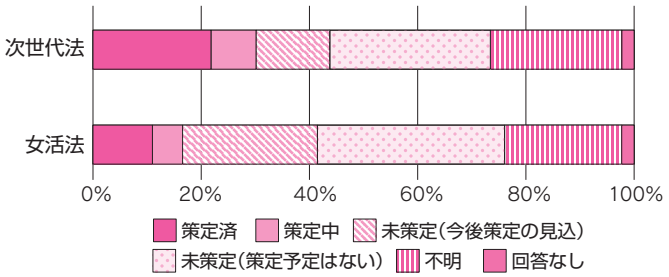
一般事業主行動計画について知っていますか？
～くるみん認定企業を取材しました～

一般事業主行動計画は次世代育成支援対策推進法（以下「次世代法」）や女性活躍推進法（以下「女活法」）に基づき、企業が子育てや女性活躍に関する行動計画を定めるものです。

11月16日の企業人権啓発懇談会にて市内事業所の皆様に計画策定状況に関するアンケートを実施しました（回答：37社）。次世代法に基づく行動計画は43%の企業が、女活法に基づく行動計画は41%の企業が策定済もしくは策定中や策定見込ということで、いずれも約４割の企業で策定に向けた動きが見られました。（事業所の人数規模により策定義務の有無は異なります。）

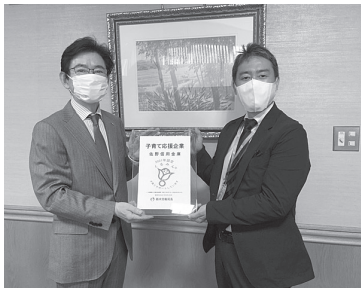
行動計画を策定した企業では、育児休業や女性の管理職の登用率等について、各企業ごとに目標を決めて取り組んでいきます。

一般事業主行動計画の策定状況アンケート



くるみん認定は、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定した企業の中で、一定の基準を満たした企業が「子育てサポート企業」として認められるものです。令和３年９月30日、佐野信用金庫がくるみん認定を取得しました。市内では三福工業株式会社に続き、２か所目の認定となります。また、県内６金庫では初ということです。

認定交付式では、木村理事長が認定証を受け取り、「実際に男性の育児休業取得促進などの子育て支援に取り組み、その認定を受けることで、今後の制度定着への良いきっかけとしたい。」とお話しくださいました。今後については、「プラチナくるみん認定、えるぼし認定（注）の取得を目指して今後も職員同士が支え合える職場環境の実践に取り組んでいきたいです。」と抱負を述べられました。



（取材日：11月４日）（左）佐野信用金庫　木村　浩　理事長
（右）栃木労働局　相川　武志　雇用環境・均等室長

注：えるぼし認定は、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定した企業のうち、女性活躍に関する取組が優良な事業主が受けることのできる認定です。

「パレット賞」を受賞して

～令和３年度男女共同参画推進事業者表彰「パレット賞」受賞事業者に聞く！～

11月16日、企業人権啓発懇談会にて男女共同参画推進事業者表彰「パレット賞」表彰式が行われました。

パレット賞は男女共同参画社会づくりの促進のために、仕事と生活の両立支援や、男女共に働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる会社を表彰するもので、今年度は3社を表彰しました。

左から　株式会社関口電設　関口　文雄　社長
株式会社フォーチュン・サークル　鈴木　利和　社長
三福工業株式会社　三井　福太郎　社長

株式会社関口電設（建設業／伊勢山町）

◇評価の理由◇

①性別に捉われない能力活用　②女性活躍の推進　③キャリアアップ支援

◇受賞コメント◇

男性中心の会社でしたが、女性の入社により視点が変わり、SDGsにも取り組むようになったので、パレット賞に応募してみようと思いました。女性活躍を進める上でとても責任重大な賞を受賞したと思っています。女性雇用をますます進めるための環境作りを行い、女性がチャレンジしやすい職場にしていきたいです。

株式会社フォーチュン・サークル佐野事業所（訪問看護・居宅介護支援事業／天神町）

◇評価の理由◇

①子育て支援の充実　②柔軟な働き方の取組

◇受賞コメント◇

弊社は目標として「全ての女性の笑顔の最大化」を掲げています。職場には女性が多く、女性のワークライフバランスを保たなければ成り立たない職場です。少子高齢化が進む中で就労人口を増やす必要がある状況で、連携する保育園の確保や病児看護休暇の利用を運用し、就労人口が増えたことは喜ばしいことです。今回は会社としての考えとパレット賞の理念が一致し、受賞に至ったと思います。

三福工業株式会社（製造業／植下町）

◇評価の理由◇

①従業員の健康管理の推進　②女性活躍の推進　③仕事と家庭生活の両立支援

◇受賞コメント◇

パレット賞があることを知り、折角なので応募してみたところ受賞できてびっくりしました。製造業なので男性社員がほとんどであり、女性は若干名しかおりませんが、積極的な女性の採用と職域拡大に取り組んでいます。育児休暇取得を推進し、近年では男性社員で育児休暇を取る者も出てきました。これからも社員一人ひとりの意見を聞き、柔軟に一個人の生活に合った環境整備に努めていきたいです。

男女共同参画講演会 安藤哲也さんと考える「寄せ鍋ライフのススメ!!」

2月5日、講師にNPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也さんをお迎えし、第15回男女共同参画講演会が開催されました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、男女共同参画講演会としては初めてのオンラインでの開催となりました。

安藤さんは父親の育児参加やワークライフバランスを主なテーマとし、全国で講演を行っています。今回は「寄せ鍋ライフのススメ!!」と題し、これからの「人生100年時代」、一人ひとりが人生の主人公として「100年ライフ」を楽しむ方法についてご講演をいただきました。講演の中で安藤さんは、仕事か生活かという単一選択型の「天秤ライフ」ではなく、完璧を目指さず仕事と生活の相乗効果をあげていく「寄せ鍋ライフ」の重要性について、ご自身の人生経験を交えながら和やかな雰囲気でお話しくださいました。

約50名の参加者は、それぞれ自宅からの参加となりましたが、先生への質問もチャット機能を利用して活発に行われました。

新しい生活様式の中で、講演会やセミナーの開催方式も変化してきています。コロナ禍でも多くの方に参加していただく方法を考える中で、今回は男女共同参画講演会にとって大きな一歩となりました。

ワーク・ライフ・バランス＝仕事と生活の

WLB⇒ライフデザイン＝寄せ鍋の鍋奉行

※このチラシはオンライン開催になる前の内容です。

パレットプラザさの講座

男女共同参画の理解促進のため、男女共同参画ネットワークさのは様々なジャンルの講座を開催しています。令和３年度は「外国人の暮らし」「コロナ禍からのリスタート」等について、男女共同参画の視点を交えながら講座が行われました。

令和４年度も５回程度講座を実施予定です。詳細は、市ホームページまたは広報さのをご覧ください。

←様々な講座を開催しています。（9月10日、1月15日の講座は新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。）

【編集後記】

新型コロナウイルスが流行し丸2年が経ち、新しい生活様式も習慣付いたことと思います。

今回の広報紙は、十分な感染対策に配慮しながらインタビュー取材を行いました。快く引き受けて下さった皆様に心より感謝申し上げます。

壬寅（みずのえとら）は「陽気を孕（はら）み、春の胎動を助く」といいます。一日も早くコロナウイルスが終息し、明るく平穏な日常生活が送れることを願います。

【編集委員】
今井美砂子　黒澤千賀子
小林　由美　髙橋　晴美　中里　聖子

パレット第24号【2022年3月発行】
編集発行　佐野市 市民生活部人権・男女共同参画課
〒327-0398　栃木県佐野市田沼町974-3
電話 0283(61)1140　FAX0283(61)1142
E-mail:danjokakari@city.sano.lg.jp

男女共同参画に関する身近な情報や、市内で活躍する女性の情報をお寄せください。また情報紙「パレット」についてのご意見・ご感想をお待ちしております。